スクリーニング検査に関する次の文中のア～ウに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

通常，スクリーニング検査では，陽性判定の基準値（どの値より異常であれば疾病を疑って陽性と判定するか）は固定されていない。陽性と陰性の判定をする境目の基準値を［ア］と呼び，敏感度と特異度を見ながら適切な値を設定する必要がある。

［ア］を高度な異常値から軽微な異常値に変更する，つまり，少しでも異常があれば陽性と判定するようにすると，［イ］は上がり，［ウ］は下がる。

	ア	イ	ウ
1．	カットオフポイント	偽陽性率	敏感度
2．	カットオフポイント	偽陽性率	特異度
3．	カットオフポイント	偽陰性率	敏感度
4．	トレイドオフ	偽陽性率	敏感度
5．	トレイドオフ	偽陰性率	特異度

（正答　2）

2020年1月の予防接種法施行令の改正に関する次の文中のア～ウに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

2020年1月に予防接種法施行令が改正され，ロタウイルス感染症が［ア］となった。ロタウイルスは［イ］を引き起こすウイルスで，5歳までの［イ］の入院患者のうち40～50％ほどはロタウイルスが原因である。

［ア］には，予防接種法第2条第2項第1号から第11号までに掲げられた疾病と，同条同項第12号の規定を受けて予防接種法施行令で定められた疾病とがあるが，ロタウイルス感染症と同様に，予防接種法施行令で定められた［ア］として［ウ］がある。

	ア	イ	ウ
1．	A類疾病	急性胃腸炎	インフルエンザ
2．	A類疾病	急性胃腸炎	水痘
3．	A類疾病	細気管支炎	インフルエンザ
4．	B類疾病	急性胃腸炎	インフルエンザ
5．	B類疾病	細気管支炎	水痘

（正答　2）